

2010年9月期第1四半期決算概要

2010年2月



株式会社 エスケーエレクトロニクス

2010年9月期 第1四半期の概況 (2009年10月～12月)

液晶パネル市場の動向

- * 各国の大手パネルメーカーが続々と中国に第8世代ライン投資計画を発表。
- * 台湾パネルメーカーCMOの第8世代が2010年初旬頃から再スタートの予定。
- * マイクロソフトのWindows7の発売やLEDバックライトを使用した液晶テレビの販売拡大等
⇒ほぼ全てのアプリケーションでパネル需給が逼迫。

当社グループの概況

- * シャープ堺工場が順調に稼働
⇒第10世代用フォトマスクの需要は堅調。
- * 韓国、台湾での第8世代ライン増設分のフォトマスク受注好調。
- * 国内・海外ともに同業他社との競争激化による単価下落が継続
⇒製品力の更なる向上、コスト削減に注力。
⇒高い歩留まりを実現。

2010年9月期連結第1四半期決算概要

(単位:百万円)

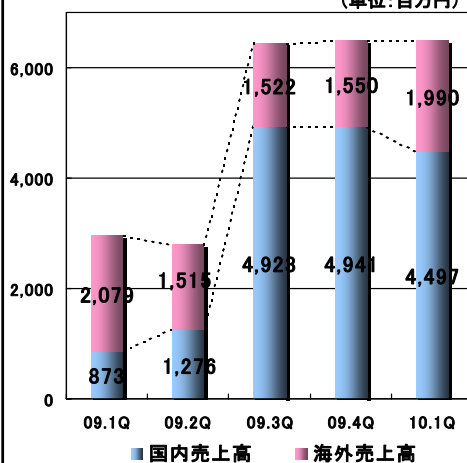
科 目	2009年9月期 第1四半期	2009年9月期 第4四半期	2010年9月期 第1四半期	前年同期比 (%)
売 上 高	2,953	6,492	6,488	+119.7
営 業 損 益	△627	285	713	—
経 常 損 益	△712	232	682	—
四半期純損益	△690	200	637	—
設 備 投 資	3,220	200	11	△99.7
減 価 償 却 費	628	1,849	1,373	+118.6
研 究 開 発 費	192	74	44	△77.1

地域別フォトマスク売上高の推移

最近の傾向: 滋賀工場の稼働により09年下半年から国内の売上高比率が増加

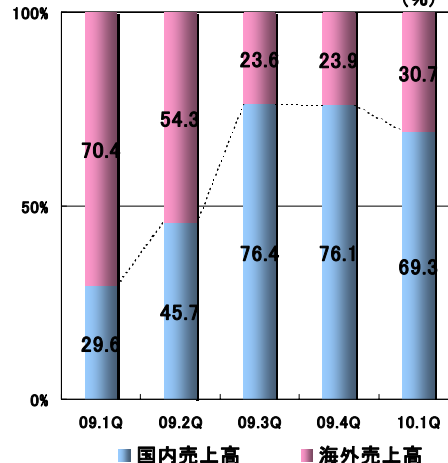
■ 地域別売上高(連結)

(単位:百万円)



■ 地域別売上高構成比(連結)

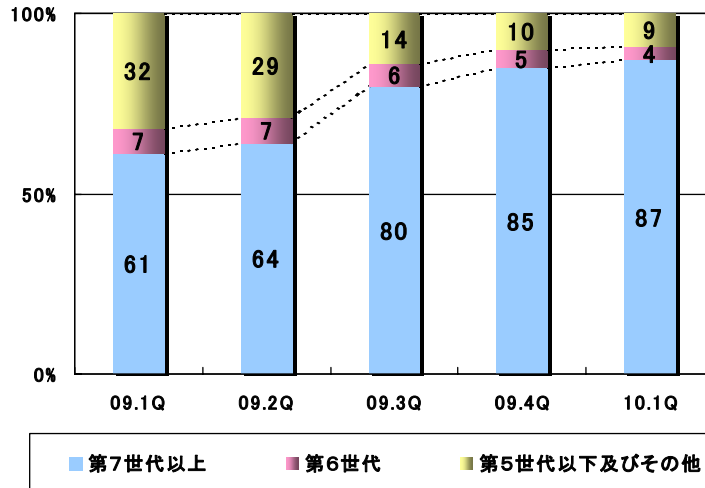
(%)



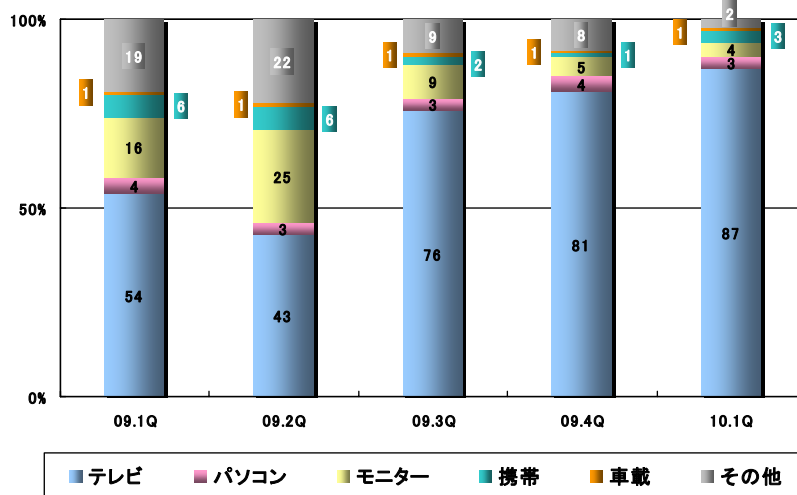
(注) 海外向け売上高は間接輸出売上高を含んだ数値となっております。

世代別フォトマスク売上高比率

最近の傾向: 滋賀工場の稼働により大型の売上高比率が増加



アプリケーション別フォトマスク売上高比率



連結貸借対照表の状況			
(単位: 百万円)			
科 目	2009年9月末	2009年12月末	前期末比
(資産合計)	(32,226)	(31,881)	(△345)
現金及び預金	2,413	5,055	2,642
受取手形及び売掛金	8,046	6,919	△1,127
商品及び製品、原材料及び貯蔵品、仕掛品計	1,877	1,646	△231
その他(流動資産)	1,017	654	△363
有形固定資産	18,337	17,087	△1,250
無形固定資産	301	278	△23
投資その他資産	231	240	9
(負債合計)	(21,911)	(20,825)	(△1,086)
支払手形及び買掛金	4,958	6,166	1,208
短期借入金	500	-	△500
1年以内返済予定の長期借入金、長期借入金計	14,549	13,325	△1,224
その他(負債)	1,903	1,334	△569
(純資産合計)	(10,315)	(11,056)	(741)
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	8,868	9,580	712
自己資本比率(%)	27.5	30.0	2.5
有利子負債残高	15,298	13,486	△1,812

キャッシュ・フローの状況			
(単位: 百万円)			
科 目	2009年9月期 第1四半期	2010年9月期 第1四半期	2009年9月期 累計(ご参考)
営業活動によるキャッシュフロー	931	5,014	1,563
投資活動によるキャッシュフロー	△2,081	△590	△8,479
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	△1,150	4,424	△6,916
財務活動によるキャッシュフロー	1,378	△1,813	7,272
現金及び現金同等物の増加額	99	2,641	245
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,267	5,055	2,413

○ 四半期純利益6億3千7百万円や減価償却費13億7千3万円、運転資金減少25億9千2百万円により、営業CFは50億1千4百万円のプラス。
○ 投資活動によるCFは、前期末の設備未払債務の支払が5億9千万円があったのみ。
○ フリーCFは44億2千4百万円プラス。

2010年9月期 第2四半期以降の見通しについて

液晶パネル市場の動向

- * シャープ堺工場第10世代のフェーズ2(36K分)
⇒2010年10月稼働開始予定。
- * IPSアルファテクノロジー(兵庫県姫路市)の第8世代ライン
⇒2010年夏頃に稼働開始予定。
- * 韓国パネルメーカー三星電子、LGディスプレイ、台湾パネルメーカーAUO
⇒下期に第8世代ラインの増設分を稼働開始予定。
- * 中国テレビ市場と世界IT市場の需要動向によりパネル需給環境が大きく影響を受ける⇒先行き不透明感

当社グループの概況

- * 第10世代用フォトマスクは、立ち上がりの需要が落ち着いた様相。
- * 第8世代以下は需要は見込めるものの、引き続き価格下落を予想。
- * 新規顧客へのアグレッシブな営業活動を展開。
- * 顧客ニーズの先取りによる新技術提案の実施。
- * 引き続きコスト削減に注力。

2010年9月期連結決算業績予想

(単位:百万円)

	2009年9月期 (実績)	2010年9月期(計画)		
		上期	下期	通期
売上高	18,682	12,850	11,500	24,400
営業利益	△675	550	△200	350
経常利益	△872	450	△300	150
当期純利益	△2,011	500	△350	150
設備投資	14,017	210	20	230
減価償却費	5,545	2,870	2,870	5,740
研究開発費	394	250	250	500
一株当たり配当金	0円	—	—	800円

<TOPICS>最近のFPDトレンド ～CESハイライト～

* 3Dテレビ

パナソニック、ソニー、サムスン、LGディスプレイなどがコンテンツ側での拡充をアピール。具体的な普及に向けた動きが加速。2010年前半には商品化予定。

* LEDテレビ

ほぼ全社がLEDテレビのラインナップを拡充。

- ・サムスン電子は2010年にLEDテレビを1000万台販売計画。
- ・東芝は10シリーズ中7シリーズをLED化。Cellレグザは約4000個LED使用。
- ・LGディスプレイは39モデルを発表、うち25モデルはLED。
- ・シャープがエッジライト採用、2010年は北米販売の50%をLED化する計画。
- ・ソニーは3D対応とLED化を同時に進め、ダイレクトタイプも採用。

* 4色カラーフィルター(シャープ)

RGBIにY(イエロー)を加えて4原色を用いて色再現範囲を拡充する新技術。

<TOPICS>新たな技術によるフォトマスクへの影響

新たな技術	フォトマスクへの影響	採用・開発中の企業数
インクジェット方式	×	数社
光配向	○	数社
PSA (Polymer Sustained Alignment)	なし	数社
3D	○	全パネルメーカー
タッチパネル	○	全パネルメーカー
LEDバックライト	○	全パネルメーカー
4色カラーフィルター	○	シャープ他数社